

井原市公共交通会議（第2回） 会議概要

と き 平成24年6月25日（月）

15:00～16:40

ところ 市役所 4階 大会議室1・2・3

1. 開 会

1) 会議の成立を報告

・出席者 委員 25名中 実出席 20名 代理出席 4名

2) 三宅会長あいさつ

3) 前回の会議概要説明（事務局）

2. 協 議

バス路線・ダイヤの見直しについて（平成24年10月改正案）

・事務局説明

（三宅会長） 委員のみなさんからご質問等はないか。

（委 員） 井原～美星支所・黒萩線（北振バス）について、谷山から田輪まで直行する便というのは、改正案の美星支所7時44分発の便を指しているのか。

（事 務 局） そのとおりである。この便は高校生が登校時に利用しており、山間の集落を経由すると始業時間に間に合わないため直行便とした。

なお、増便した美星支所8時10分発の便は、美星地区を循環するスクールバス一般混乗路線から乗り継ぎが可能である。また、井原バスセンター10時30分発の便は美星地区の井原あいあいバスに、14時5分発及び15時10分発の便はスクールバス一般混乗路線に、それぞれ乗り継ぐことができる。さらに、井原バスセンター19時発の美星支所行を増便し、高校生が部活後の帰宅に利用できるよう配慮している。

（委 員） 井原～笠岡線（井笠鉄道）を21時台に1往復2便増便することだが、JRのダイヤ改正（年2回）にあわせて、時刻を柔軟に変更する意向はあるか。

（事 務 局） 利用者の要望を踏まえ、現行よりも約1時間遅い便を設定している。JRのダイヤ改正にあわせて乗り継ぎができるよう、事業者へお願いしたいと考えている。

（三宅会長） 軽微なダイヤ改正に対しては必要ないかもしれないが、JRのダイヤが大きく変わる場合は、バス時刻の変更が必要であると思う。

（委 員） このたびの路線・ダイヤの改正は、支所等での乗り継ぎを意識している点で、非常に画期的な見直しになると思う。

2点、確認したい。1点目は、減便する便の利用状況はどうかという点。2点目は、高校生の帰宅利用を想定した時刻の繰り下げや増便等の改正案を、高校へ説明した際の生徒の反応はどうだったかという点。以上である。

（事 務 局） 1点目については、昨年度実施した市内全バス路線の利用状況調査において、利用がゼロ又はゼロに近い状況であった土日祝日の朝夕の便を減便している。

2点目であるが、6月に県立井原高校及び県立矢掛高校において、直接、高校生から意見を伺った。高校生の反応であるが、例えば、井原～笠岡線（井笠鉄道）の井原市民病院行は、意見を踏まえ、事務局で考えていた便よりも遅い井原バスセンター8時22分着の便を延伸することとした。また、夕方の井原市民病院発

の時刻は、部活終了後の帰宅に利用できる 18 時 58 分とした。北振バスの芳井・美星方面の終発時刻についても部活終了後の帰宅に利用できるように、井原～共和・弥高山入口線と井原～佐屋線は井原バスセンター19 時 5 分発（井原～佐屋線は芳井支所で乗り継ぎ）、美星方面は 19 時発とした。矢掛発の美星方面は、当初、最終便のみ繰り下げる予定であったが、1 本前の便も遅くしてほしいとの意見があり、現行の矢掛 17 時 10 分発を 17 時 35 分発、18 時 20 分発の最終便を 19 時 5 分発とし、それぞれ矢掛駅における井原線からの乗り継ぎも考慮した。各高校では、特に 1 年生から、利用したい時刻等の具体的な意見を数多くいただいております、今後の利用拡大につながる手応えを感じたところである。このたび、高校生の意見を直接聞くことができたことは、見直し案の作成にあたり大変参考になったと感じている。

- (三宅会長) それぞれの高校において、何人の高校生から意見をいただいたのか。また、高校の始業時間は何時か。
- (事務局) 県立井原高校は任意参加であったため、バス通学者約 100 人のうち出席者は約 40 人であった。県立矢掛高校は、他の行事と重なった関係で 10 人であった。また、始業時間は 8 時 35 分とのことである。
- (委員) 芳井支所を発着とする便との乗り継ぎに際し、利用者は整理券を受け取り、乗り継ぎ後の便の降車時に運賃を支払うとの説明であったが、利用者が乗り継ぎ対象便に乗車しない場合、運賃が未収となる恐れはないか。
- (事務局) 芳井支所に到着したバスのすぐ隣に乗り継ぎ対象便が待機し、運転士の誘導に従い乗り継ぐかたちをとるため、未収は生じないものと考えている。
- (委員) このたびの見直しに伴い、芳井支所、美星支所及び井原市民病院の 3 箇所が重要な交通結節点となる。特に、両支所では乗り継ぎ改善のための環境整備を予定しているとのことであるが、具体的な内容は決まっているか。
- (事務局) 芳井支所については、玄関脇にバスロータリーを整備し、支所内ロビーを待合室として活用することを考えている。バスロータリーの整備により、芳井支所発着便との乗り継ぎ、また、芳井地区を循環する井原あいあいバス及び予約型乗合タクシーからの乗り継ぎがスムーズになる。
- 美星支所については、県道沿いの停留所を美星支所玄関前に移設し、玄関前や支所内ロビーで待ち合わせができるよう改善する。
- (三宅会長) 芳井支所のバスロータリーに設ける停留所はどのようなものになるのか。
- (事務局) 停留所に雨風がしのげる上屋を設ける予定である。
- (委員) 整備は 10 月の運行開始までに間に合うのか。
- (事務局) 間に合うように準備を進めたい。
- (委員) このたびの見直しは、高校生の利用拡大につながれば非常によい話である。しかしながら、私も調査員として関わった昨年秋の利用状況調査の結果をみると、高校生の利用が非常に少ないという現状がある。高校生のバス利用の少なさについては、時刻だけでなく、他にも原因があるのではと思うが、どうか。「時刻が変更されればバスを利用します」という声があれば安心だが、時刻の見直しだけで今後の利用拡大につながるかどうか、不安である。
- (事務局) これまでに実施した調査等によると、現在、登校時にはバスで通学しているが、部活終了後の帰宅時に便がなく、家族が車で迎えに行っている状況や、片道の利

用では定期券が有効に利用できないため、登下校時とも家族が送迎している状況がある。また、このような高校生のほとんどは、2年生・3年生になると原付での通学に移行するが、冬季は降雪や路面凍結により危険なため、バスで通学できる環境が整うとよいという意見を先生方からいただいている。

さらに、高校での説明会の際、通学に利用できるバスが1便でも多く確保されていることは、生徒募集にあたってのセールスポイントになると学校側から大変喜ばれたところである。見直しの時期が10月であるため、直ちに実績には表れないと思うが、新1年生が入学し、現在の1年生・2年生が進級する来年4月以降の状況を注視したい。

- (委員) 冬季の高校の閉門時間は何時頃か。冬と夏とでは時間が違うのではないか。
- (事務局) 夏、冬時間はあるかもしれないが、最終下校時刻は19時と聞いている。
- (委員) 中学校では、冬季の部活終了時刻は17時頃となっている。
- (委員) このたびの見直しには、利用者の要望が概ね網羅されているので、新たな路線・ダイヤで運行してみて様子を見るのもよいと思う。
- (三宅会長) 今後、各方面にバス利用の働きかけをし、公共交通の良さを実感してもらいたい。見直し後もあまり利用していただけない場合は、再度検討する必要がある。
- (委員) 井笠バスの時刻表について伺いたい。一般配布用時刻表には「笠岡市民病院行」、「興讓館高校線」等の記載があるが、笠岡市民病院や興讓館高校前の発着時刻がわからない。また、興讓館高校線はどのような経路を走っているのか。これらの点を時刻表に分かりやすく表記すれば、利用しやすくなると思う。
- (委員) 運行事業者の立場からお答えしたい。興讓館高校前発着便及び笠岡市民病院前発着便の時刻については、一般配布用の時刻表のサイズが決まっているため利便性に欠ける点がある。次回はわかりやすい時刻表を作成したい。
- 興讓館高校発着便の経路については、朝は笠岡駅前→井原バスセンター→(井原大橋)→興讓館高校前、夕方は興讓館高校前→(大正橋)→井原バスセンター→笠岡駅前であり、休校日には井原バスセンター～興讓館高校前間が運休となる。なお、興讓館高校線の行先表示は「興讓館高校」となっているため、初めて利用されるお客様には行先や経路がわかりにくい面がある。
- (三宅会長) ほかにご質問等はないか。
- 傍聴人から挙手があるが、委員のみなさん、意見を伺ってもよろしいか。

委員了承(傍聴人発言承認)

- (三宅会長) それでは、傍聴人の方どうぞ。
- (傍聴人) 備北バスの見直し案について確認したい。1点目は、井原～高梁線の芳井町吉井～佐原～与井～芳井町梶江間の旧道区間を廃止し、築瀬・桜溪塾前等を経由するとのことだが、佐原・与井の停留所の利用者が少ないため経路を変更するののかという点。2点目は、改正案の時刻表に向町入口の時刻が記載されていないが、記載されていないだけなのか、それとも廃止されるののかという点。以上である。
- (事務局) 現在、北振バスと備北バスの両事業者が旧道区間を走っているが、築瀬以南の国道313号沿いとさくら団地のあたりは公共交通空白地区となっている。限られた路線でより多くの地域をカバーするため、国道313号を備北バス、旧道を北振バスで分担するという考えに基づき、今回の見直し案を作成している。
- また、時刻表には主な停留所の時刻を記載しており、記載のない向町入口等の停

留所を廃止するものではない。

(委員) 先ほど、行先表示がわかりにくいとの発言があったが、初めて利用する方は、行き先や経路がわからないという理由でバスを利用しないという話をよく聞く。車両の乗車口のあたりに、何かわかりやすい表示があればよいと思う。金沢市内の観光地を巡るバスでは、乗降口の横に行き先がわかりやすく表示されているので、参考になるのではないか。

(三宅会長) 行先表示や時刻表のわかりにくさが原因で利用しない方もおられると思うので、乗車行動へつながるPRも含めて、このダイヤ改正が実施されることが非常に重要だと思う。利用があってこそその公共交通であり、有効なヒントをいただくことができたと思う。

ほかにご質問等はないか。

ご質問等がなければ、原案のとおり承認してよいか。

委員拍手（協議事項承認）

3. 閉 会

仁科副会長あいさつ